

---

第 183回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2008 年 11 月 7 日(金) 17 時 30 分~18 時 30 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 野原 幹司 氏 (大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部)

タイトル: 口腔機能の科学

大阪大学の顎口腔機能治療部(顎治)は、1972 年に口腔外科から独立した口腔機能のリハビリテーションに特化した臨床・研究部門です。その臨床・研究内容の源流は口蓋裂の言語治療にあり、世界初の軟性経鼻内視鏡の開発、西日本初の病院言語治療室の設置等の実績を残しています。その後、臨床・研究内容は時代の流れとともに変化し、現在では「しゃべる、食べる、呼吸する」といった3大口腔機能の障害の改善を目指す「音声言語、摂食・嚥下、睡眠歯科」に加えて、低栄養の改善を目的とした「栄養歯科」、口腔乾燥症の改善を目的とした「ドライマウス」を加えた5本柱で診療を行い、それらの治療を目指した研究を行っています。

このように顎治の研究は非常に多岐に渡るものですが、基本としてあるのは口腔機能のリハビリテーションであり、それを目的に種々の手法で研究に取り組んでいます。今回のセミナーでは、これら口腔機能のリハビリテーションに関する臨床研究のダイジェストを紹介します。このセミナーが貴学との共同研究等の交流の機会になると幸いです。

担当:健康増進口腔科学講座 小 笠 原 正